

ゲーム依存対策を進めます

日常生活よりゲームを優先し、学業や健康に問題が生じても続けてしまう「ゲーム行動症」(ゲーム依存)。世界保健機関(WHO)が新たな依存症として認定するなど世界中で社会問題化しています。

わが国でも10～29歳の若年層で10.3%にその疑いがあることが国立病院機構久里浜病院の調査でわかりました。8年前より約5ポイントも増えています。県議会公明党は県、市町村、国の連携により、専門医療機関の充実など一層の対策を進めていきます。



HPへ▼

神奈川県議会議員

おのでら 慎一郎
しんいちろう

